

山直北地区まちづくりニュース 第7号

2019(令和元)年9月 発行
発行：山直北地区まちづくり勉強会

第5回勉強会が 開催されました

2019（令和元）年8月25日、山直市民センターにて第5回勉強会が開催され、33名の方が参加されました。勉強会では、「泉州山手線の進捗」及び「第2回個別相談会及び土地利用意向アンケート調査結果」について事務局より説明し、「事業化検討パートナーの必要性と事例紹介」に

ついて大阪府都市整備推進センターより説明いただきました。

アンケート調査結果からは、これまでの4回の勉強会で、まちづくりについて一定のご理解は進んでいるものの、将来どうなるのかという思いをお持ちの方が多数ということがわかりました。そういったことから、これからは、これまでの一般的な話から、山直北地区としての具体的な内容について検討していく、ということについてご説明しました。

第5回勉強会の様子



一般的な話

第1～4回勉強会

- 土地区画整理事業とは
- 基本的な流れ
- Q & A

一般的なまちづくり手法（土地区画整理事業等）の内容については理解が進んだ

地区の
具体的な話

- まちづくり手法を判断するための材料を示すことが必要

- 協力してくれる民間事業者とは？
- 企業情報の収集（アンケート調査）

この結果を踏まえ、事業化検討パートナーの必要性と事例紹介ということで、大阪府内のまちづくりで、多数の事例に携わっておられる、公益財団法人大阪府都市整備推進センターの藤井氏を講師にお招きしました。藤井氏からは、まちづくりを行う際は初期段階から土地利用計画を検討しておくことが重要であり、そのために事業化検討パートナーを公募により選定することが必要であるというご説明をいただきました。今後は、市で実施予定の企業アンケート調査と併せて、皆さまにご判断いただける材料の検討を進めていきます。

なお、当日の主なご質問、ご意見は次のとおりです。

- Q. 泉州山手線は、三田町のところが先行着手工区になったということだが、いつから工事が始まるのか？
- A. 工事の前に、土地の測量、立会、買収、物件の移転等があるため具体的にはわかりませんが、それも含めて着手してから10年程度がメドと聞いております。

- Q. 事業化検討パートナーが無償で協力するメリットは？
- A. 事業化検討パートナーになれば、将来も一緒に事業をすることがほとんどですので、事業が上手く進めばその恩恵や利益を得ることができる、というところがメリットとなります。

第6回勉強会は 秋～冬頃の開催を予定

次回の第6回勉強会の開催は、秋～冬頃を予定しております。勉強会の内容や日時などの詳細につきましては、事前に案内をお送りしますので、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

次回勉強会：2019（令和元）年
秋～冬頃 開催予定

これまでの勉強会で使用した資料は、右記事務局に置いてありますので、ご用の際はお問い合わせください。

より良い山直北地区のまちづくりのため、皆さまのご協力、ご参加をお願いいたします。

まちづくりに関する内容や取組み状況等のお問合せ・ご相談は下記までお尋ねください。

山直北地区まちづくり勉強会 事務局
(岸和田市まちづくり推進部都市整備課)

電話：072-447-6526

FAX：072-437-9171

メール：machi-yamadaikita@city.kishiwada.osaka.jp

市HP：<https://www.city.kishiwada.lg.jp/page/141-yamakita.html>

